

1日も早い全面開園を—— 市民が心待ちにするその日に向けて

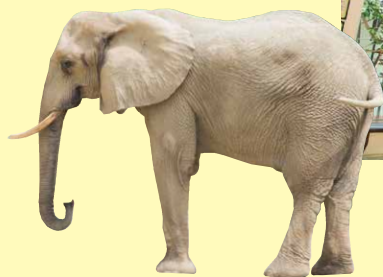
10月6日(土)～8日(月・祝)は、同園の秋の風物詩で、
3年ぶりとなる「秋桜まつり」を開催。
地震前の姿を取り戻しつつあります。

小さくてかわいい動物が仲間入り！ 家族や友人と出かけたいイベントも

「パプアニューギニア館」、「ハ虫類館」では、ムササビやフクロモモンガ、インドホシガメといった新しい動物にも出会えます。資料館では展示スペースが拡大されたほか、全国的にも数少ないコウベモグラの飼育展示を行っています。10月6日(土)～8日(月・祝)には「秋桜まつり2018」を開催。「植物の展示即売会」やステージイベントなど、親子で楽しめる内容が盛りだくさんです。ぜひ、遊びにいらしてください」と竹屋さん。市民が待ち望む全面開園に向け、職員一丸となって取り組んでいます。



園内の花畑いっぱい、
色とりどりのコスモスが咲きます



ハ虫類館

エリア拡大により
オープン！ニューフェイス
のインドホシガメが加わりました



チンパンジー愛ランド

ひょうきんな表情をみせる
チンパンジーたちに
会いにこよう！

パプアニューギニア館

東南アジアに生息している
鳥たちや夜行性の
動物たちを展示



LOCAL ～地域社会～

～帰りたいふるさと～「豊田復興まつり」

豊田復興まつり実行委員会(南区城南町)

「子どもたちの記憶に残るふるさとを」

10月20日(土)、小木阿蘇神社(南区城南町)で行われる「豊田復興まつり」。日奈久断層帯が通っているため特に地震の被害が大きかった豊田地域で、有志による実行委員会が準備を進めて来ました。「当初行っていた座談会の中で、『住民交流の場であるお祭りを復活させよう』という声が上がりました。私たちが小さい時には、神社の神事として行われていたお祭りがとても賑やかでした。だから今の子どもたちにもそんな思い出を残して、『帰りたい』と思えるふるさとを作ってあげたいんです」と村田勝喜会長。そのため子ども神楽や小大蛇演舞、地域民話・沈目大蛇の紙芝居など、子どもが参加したり楽しめるものを多く企画しました。また地域の食や遊びの体験ブースを設け、古墳をはじめとした名所を徒歩で巡る「豊田歴史散歩」を同時開催(応募方法は市政だよりP25参照)するなど、町内外に豊田地域の魅力をPRする内容も盛りだくさんです。「やむを得ず地区を出た人たちも、お祭りの時には是非帰ってきて欲しい」と話す村田会長。その言葉には、住民が一体となって目指す豊田地域再生への思いが込められています。



3月から準備を進める「豊田復興まつり」実行委員会の皆さん

ACTIVITY ～復興支援～

「くまもと型復興住宅」で叶える 安心な住まいのお手伝い

地震に強く、熊本の地域産材を利用した良質でコスト低減に配慮した木造住宅を「くまもと型復興住宅」と呼びます。現在、県内の住宅事業者、大工、工務店で構成される44グループが、61タイプの復興住宅を提案。益城町のテクノ仮設団地内には、モデル住宅3棟を建設しています。県内各地で相談会を開催し、復興住宅の提案や融資、助成制度についてのご案内しています。

具体的には？

- 本体工事費1,000万円以下の住宅など低価格からご提案
- 資金面の支援や地盤に関することなどについての相談も受付
- 今後、相談者と工務店とのマッチングサポートを実施予定

「仮設住宅などの供与期間の終了が近づくなか、相談会に訪れる方が増えています。高齢者お二人向け住宅やファミリー向け住宅など、様々なニーズに沿った住宅を提案しています。相談会は予約制ですが、お電話でのお問い合わせも随時行っています。復興住宅や支援制度、融資制度を掲載したガイドブックも配布していますのでお気軽にご連絡ください」



熊本県建築士事務所協会専務理事の
小林至さん(左)と中坂達さん



益城町テクノ仮設団地内にあるモデル住宅1号棟。
平屋づくりの快適な空間

お問い合わせ／一般社団法人熊本県建築士事務所協会 ☎096-371-2433